

平成 27 年度事業計画書

1. 27 年度事業実施の方針

アベノミクスの効果が顕れるのはまだまだ先のようにですが、稲田朋美自民党政調会長のお話の中で、進む人口減少問題に対応する施策が押し進められており、「地方に少しずつ優遇策が講じられて来ている」とのお話に、この機を逃さずに実情に応じていろいろな取り組みを行ってきたところでございます。

全国に数ある博物館は、とかく「堅い、静か、暗い、難しい」など、マイナスイメージで捉えられておりますが、これまでがそういうイメージを抱かせる様な展示や活動を行ってきた結果にほかならないからだと思います。では当博物館としては、「どのような活動を行うべきか」。試行錯誤をくりかえし現在に至っております。

当館のメイン事業の特別展も、連携により昨年より勝山市と共催で開催する事となり、より充実した内容をお届け出来る事となりました。連携初の第1回共催特別展に続き、**第2回共催特別展「江戸時代勝山のまち・むら・山のくらし」**（仮称）が待たれるところです。第1回の反省点も踏まえ、調和のとれた質の良い展示内容の充実を図るとともに、博物館を運営する側の立場だけでなく、勝山市役所の方々や館を利用する方が参加し、様々なご意見をお出しいただき、運営に生かしていけたらと思います。そして、その事を目的とした懇話会も立ち上がったところでございます。

友の会活動への理解と協力を得ることも勿論の事、ホームページでの広報宣伝で強いメッセージを発信したり、グッズ類の販売や、小学校、中学校への呼びかけを行い、館内学習実施の働きかけもしてまいります。

また、博物館に来館される方はどうしても固定化する傾向があるため、まずは館に来ていただく事が重要かと思い、今年も邦楽コンサートやライブコンサートをはじめ、絵手紙講習等個性あるユニークな活動を展開、事業計画に新風を吹き込みました。

年々財団の台所事情が厳しくなっていく中、文化活動を助長する事は勿論ですが、博物館の本務である調査研究や展示事業の他、各事業の経費の充実をはかりながら、多くの入館者の方々にお越しいただけるよう、そして収益を少しでも上げるよう考慮致してまいりたいと思います。

建設以来20年をゆうに越す博物館は、建物をはじめ、すべての設備が改善を余儀なくされ、メンテナンスや維持管理に莫大な経費が生じております。

特に公益財団法人化と共に、2年毎に実施されます特殊建築設備の定期調査の結果が表され、非常照明のバッテリー切れと器具不能交換等の指摘を受けております。（工事改善予定の有無の提出の要請がありました。）

今後その時々状況に立ち止まっては再度問い直し、当館にふさわしい雰囲気づくりをしながら、新しい方向性を追い求めてまいりたいと思います。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①平成お天守塾「古川章版画年賀状作品展」

日程 平成27年4月11日(土)～5月10日(日)

当館友の会会長として各種事業に多大なご協力をいただいている古川章先生が、長年取り組んでこられた版画年賀状の作品展を開催いたします。

(平成お天守塾は、地域の人々の発表の場を提供する事業)

②平成お天守塾「勝山城清明茶会」

日程 平成27年4月19日(日)

毎年好評を得ている茶会「清明茶会」も9回目になります。今年は白山市、永平寺町、福井市から先生を迎えまして、濃茶・薄茶・野点・点心の席を設けます。北陸最大級として認知されたお茶会を通して、当館の更なるイメージアップと今後の来館者の拡大を図ります。

③ナナ・イロライブ (仮称)

日程 平成27年7月4日(土)

福井県を中心に全国でも活躍する女性デュオのバンド「ナナ・イロ」によるライブを開催いたします。嶺北を中心に県内各地からの来客を見込みます。場所は2階ホールです。

④勝山市・勝山城博物館連携第2回共催展

「江戸時代勝山のまち・むら・山のくらし」(仮題)

日程 平成27年7月20日(月)～9月30日(水) 63日間無休

勝山市との連携共催展覧会を開催いたします。第2回となる今回は、夏休みの人出を取り込むべく開催を前回より40日ほど早めます。人員配置の問題から会期は短縮しますが、少しでも多くの方にご来館いただけるよう、他博物館の平均的な開催期間よりも長めの設定としました。前回の幕末・明治に続いて、今回は江戸期の勝山を取り上げます。

⑤納涼花火大会見物&ナイトミュージアム

日程 8月14日(金)午後7時から9時30分まで

当館展望台からの花火見物を行います。同時にナイトミュージアムとして展示室も観覧可能とし、あまり見ることのできない夜の博物館も楽しめる企画です。

⑥信州ジャズコンサート「お城でジャズ Vol.3」

日程 9月の土曜日又は日曜日

前回・前々回と、観覧者や出演者にも好評だったジャズコンサートの開催を予定しています。場所は2階ホールです。プロのジャズグループによるコンサートであり、勝山市外からの集客も見込めます。

⑦お城でゴスペルⅢ

日程 10月の日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、3回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループとの繋がりを確保するとともに、当館が音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知されるよう企図しております。場所は2階ホールです。

⑧平成お天守塾「第10回 越前勝山城絵画作品展 お城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 6月中旬～10月上旬

表彰式 11月8日(日)午後 2階障壁画前

展示会 11月8日(日)～11月23日(月・祝)(16日間)

10回目となる「お城を描こう」を開催いたします。エコミュージアム協議会の補助金申請を予定しております。第9回では初めて一般の部を募集し、展望室からの景色といった画題も認めるなど、募集内容を拡充いたしました。絵画の一般公募イベントが増える中、少しでも多くのご応募をいただけるよう努めてまいります。

⑨新春特別陳列・新収品展

日程 平成27年1月1日(金)～1月19日(火) 19日間

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間しか陳列することができません。カビや虫への不安も少なく、客足が落ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の合戦図屏風などの特別陳列を行います。

⑩新春テーマパネル展「天爵大臣水谷忠厚による明治期福井県道路開鑿」

日程 平成27年1月1日(金)～2月14日(日) 39日間

「国道」や「廃道」をテーマにした書籍が最近多く出版されております。勝山をはじめ福井県各地で、明治期に道路工事で活躍した天爵大臣こと水谷忠厚について、パネル解説によるテーマ展を開催いたします。解説小冊子も作成し、最も入館者が減る時期に少しでも来館いただけるよう告知してまいります。会場は4階企画展示室の一部を予定。会期中の水曜日は通常通り閉館です。

(2) 主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日(計4回)

会場 2階和室「蘭月の間」

主催者 勝山市茶道連合会・勝山城博物館共催

お茶を希望される来館者に、抹茶を有料で提供いたします。茶道に親しみ博物館への理解を深めていただきます。今年で13年目となります。この他にも、随時当館の文化事業として相応しいイベントについて利用の働きかけを行うとともに、貸館の申し込みを受け付けます。今年度もピアノ教室の発表会などでの利用が見込まれます。

(3) 学芸活動

- ①燻蒸作業は、特別展開催にあたって作品を搬入した場合に、燻蒸庫を利用して行います。また、燻蒸庫については、有料で外部の利用も受け入れる考えでおります。館蔵品につきましては、専用の防虫剤・調湿材・殺虫剤の設置や日々の清掃によって資料保存に努め、大規模燻蒸はしばらく見合わせます。
- ②調査研究活動では、昨年度福井県各地の学芸員や研究者との定期的な繋がりを確保できました。講演依頼や資料調査依頼も増え、当館がしっかりした歴史博物館として認知されつつあると言えます。今年度は西脇呉石コレクションの貴重な書の研究を引き続き進め、当館のさらなる認知度向上を図ります。
- ③平常展示では、3階平常展示の定期的な入替えを実施いたします。甲冑類は数が限られていますので、引き続き装束と刀剣の入替えをメインといたします。鉄砲類のメンテナンスや4階中国刺繍についても、できるだけ時間を確保して行いたいと考えております。
- ④特別展では、主に勝山市史跡整備課の職員と連携し、公益財団であるからこそできる展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月下旬 講師 未定
- ② 館外研修旅行 5月下旬富岡製糸場ほか(1泊2日)
- ③ 館外研修写真アルバムの編集・発行
- ④ 友の会だより第22号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。また、ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では広報かつやまへの掲載や新聞折り込みなども行います。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例理事会の開催 2回(予算、決算)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回